

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道159号 羽咋道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：石川県羽咋市四柳町 至：石川県宝達志水町二口	延長	6.7km		
事業概要					
一般国道159号羽咋道路は、交通渋滞の緩和、交通事故の減少および歩行者・自転車通行の安全性の向上などを目的とした延長6.7kmのバイパス事業である。					
H20年度事業化		H13年度都市計画決定		H24年度用地着手	
H27年度工事着手					
全体事業費	約145億円	事業進捗率	16%	供用済延長	—km
計画交通量	9,600～13,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 150/159億円 〔事業費：103/111億円 維持管理費：47/47億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 177/177億円 〔走行時間短縮便益：155/155億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：1.4/1.4億円〕	基準年 平成26年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量		: B/C=1.01～1.2 (交通量±10%)		(残事業) 交通量 : B/C=1.1～1.3 (交通量±10%)	
事業費		: B/C=1.1～1.2 (事業費±10%)		事業費 : B/C=1.1～1.3 (事業費±10%)	
事業期間		: B/C=1.02～1.1 (事業期間±20%)		事業期間 : B/C=1.1～1.2 (事業期間±20%)	
事業の効果等					
定性的な効果					
①安全性の向上					
・現道の大型車等の交通が羽咋道路へ転換することで、安全性の向上が期待される。					
②第三次医療施設へのアクセス向上					
・羽咋市から能登地方唯一の第三次医療施設である公立能登総合病院への所要時間が約4分短縮され、アクセス性が向上することで、迅速な救命救急活動などを支援する。					
③災害に強い道路ネットワークの形成					
・土石流危険区域が回避され、災害に強い緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。					
④地域産業の活性化・物流効率化					
・羽咋市内を中心に、地元企業の優れた技術や羽咋道路の整備などを見越して、ベアリングの国内大手企業が集積しており、地域産業の活性化・物流効率化による生産性向上に寄与することが期待される。					
関係する地方公共団体等の意見					
地域から頂いた主な意見等					
国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会から、羽咋道路の早期完成に向けた要望をいただいている。					
知事の意見					
引き続き事業を継続し、早期の事業効果発現に向け、コスト縮減に努めながら着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。					
事業評価監視委員会の意見					
審議の結果、再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
前回再評価以降、大きな社会経済情勢などの変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
事業の進捗状況：用地進捗率21%、事業進捗率16%（平成29年度末予定）					
残事業の内容：用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、改良工事					

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、改良工事を推進し、早期暫定2車線供用を目指して事業を推進する。
- ・4車線整備については、交通状況を勘案しつつ整備時期等を検討する。

施設の構造や工法の変更等

- ・道路幅員や交差点形状の縮小等によるコスト縮減を実施している。
- ・建設発生土の有効利用や新技術の積極的な活用等により、コスト縮減を図る。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みからも、引き続き事業を継続することが妥当であるとする。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。